

品川区教育委員会会議記録

平成 24 年 第 8 回 定例会

場 所 教育委員室

期 日 平成 24 年 5 月 8 日

開 会 午後 2 時 00 分

閉 会 午後 2 時 59 分

出席委員	委 員 長	市川 信之助
	委員長職務代理者	鈴木 敏夫
	委 員	安尾 久子
	委 員	波多野 美佳
	教 育 長	若月 秀夫
欠席委員		

出席職員	教 育 次 長	田村 信二
	庶 務 課 長	齋藤 信彦
	学 務 課 長	和氣 正典
	指 導 課 長	太田 元
	品川図書館長	中元 康子

議事運営 および 委員長、教育 長報告事項等	<ul style="list-style-type: none"> 署名委員に安尾委員、波多野委員を指名。
---------------------------------	---

件名	<p>日程第1 報告事項</p> <p>平成24年度新入学学校別増減要因一覧について</p>
担当課説明等	<p>(学務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に基づき説明
委員質疑要旨	<p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回、学校選択制による抽選となった学校はどこか。また、何名が入学することができたか。 <p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新入学学校別増減要因一覧表(以下、「一覧表」)にて、増要因および減要因共通の項目として「希望(実)」という項目があるが、両者の間で意味合いが異なるため、表記の仕方等を改めたほうがいいのではないか。 一覧表にて、減要因のカテゴリに国公立欄があり、その中に「中等教育学校」とあるが、小学校においては不要ではないか。 一覧表にて、増要因および減要因のカテゴリに、「区域外就学」や「転出」とあるが、どのような内容であるか。 一覧表は、何を表したいものか不明である。例えば、「入学者数の増減により一貫校に流れる傾向がある」、「校舎の新しい学校に児童が流れる傾向がある」、「従来からの学校ブランド力により根強い人気がある」、「学校の評判が良くなり児童が流れていく傾向がある」等、全体の動きや傾向がわかるようにしたらどうか。また、入学者数が減少傾向にある学校について、この傾向をどう教育委員会事務局として受け止めているか。 <p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者に対して学校選択制に関するアンケートを行っているとのことだが、学校選択制による抽選の結果に対し、保護者の反応はどうか。例えば、抽選に外れたことにより希望でない学校へ入学することの満足度など、その後のフォローについてどう捉えているか。 いつの時期においてアンケートを実施するのか。 <p>(委員D)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第四日野小の入学者数が大きく減少したのは今回が初めてか。 <p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> 他区から品川区への入学については、どういう状況か。
事務局説明	<p>(学務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校においては、品川学園、日野学園、第三日野小、大井第一小、伊藤学園、大間窪小、第二延山小、小山台小の8校が抽選となった。そのうち、品川学園、日野学園においては、抽選者全員が繰り上がりで入学することができたが、第三日野小は5名、大井第一小は8名、伊藤学園は26名、大間窪小は3名、第二延山小は12名、小山台小は3名が抽選により入学できなかった。中学校においては、日野学園、伊藤学園、戸越台中

	<p>の3校が抽選となり、伊藤学園、戸越台中は抽選者全員が繰り上がりで入学でき、日野学園は18名が抽選により入学できなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一覧表にて、増要因の「希望(実)」は、同区域のブロックから品川学園を希望して入学した人数であり、減要因の「希望(実)」は、学区区域の児童、生徒で希望により他の学校に入学した人数であるため、意味合いは異なる。しかし、表記の仕方、見方等がわかりにくいいため改める。 ・ 一覧表にて、小学校に「中等教育学校」は不要な項目のため、削除する。 ・ 一覧表にて、「区域外就学」とは、品川区に住民票があるにも関わらず他自治体の学校を希望した人数であり、「転出」とは、品川区から住民票も異動し、他自治体の学校に入学した人数である。近年、他区が受け入れを厳しく制限しているため、品川区も調整を行っている。 ・ 一覧表は、各項目において人数等を把握し、経年化することで過去との比較ができるものである。また、各学校における入学者の増減要因、傾向や数値等は、別途、事務局内で把握しているため、改めて報告する。 ・ 平成23年度までは、学務課にて学校選択制におけるアンケートを実施していたが、平成24年度からは、指導課と共同で行うこととした。アンケート結果によると、8～9割の方が満足している傾向があり、特段、大きな苦情や不満はないと認識している。 ・ アンケートは3月に実施しており、毎年行うようにしている。アンケート結果については、別途、報告する。 ・ 第四日野小は、周囲の学校が改築傾向にあるせいか、年々減少している状況である。 ・ 一覧表より、区域外就学は、小学校全体で増要因として4名、減要因として9名とわずかである。区域外就学は、他区との調整もあり例外的であるため、品川区においても多く受け付けはしないが、中学校においては、比較的柔軟に対応している状況である。
委員意見要旨	<p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一覧表は、作成方法、見方、各学校の傾向等が把握できるよう工夫する必要がある。 ・ 一覧表より、荏原平塚学園の入学者数の増減において、小学校は微増、中学校は大きく減となっていることが読み取れるため、中学校に進学する際、小学校の6年間でこういった課題、傾向があったか等、今後の学校訪問での質問材料としていきたい。
議事結果	了承

件名	日程第2 その他1 平成24年度品川区電力節減対策の概要について
担当課説明等	(庶務課長) ・ 資料に基づき説明 (学務課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	(委員C) ・ 平成23年度は、東日本大震災の影響により、各施設が節電に積極的に取り組んだ。平成24年度は、前年度の経験を踏まえ、業務等への影響を必要最小限とすることを基本に節電に取り組むことが必要である。
議事結果	了承

件名	日程第2 その他2 平成24年6月の行事予定について
担当課説明等	(庶務課長) ・ 6月の委員会開催について、26日の定例会は、文教委員会と重複するため、午後4時開始としたい。
委員質疑要旨	(委員C) ・ 退職校長会品川支部定期総会の出席者は何名程度か。
事務局説明	(庶務課長) ・ 例年30～40人程度が出席し、元品川区立小中学校の退職校長等が対象である。
委員意見要旨	特になし
議事結果	6月の教育委員会は、6月12日午後2時、6月26日午後4時の開催とする。